

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型児童デイ はぐぼん藤が丘駅前		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 8日		2025年 3月 1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○従業者評価実施期間	2025年 2月 8日		2025年 2月22 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 7日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者様との連携	連絡帳に写真を添付することで、活動の内容をより詳細にお伝えすることができている。また、その写真をきっかけに、家庭内で子どもたちが保護者さまに自分で活動の報告ができるきっかけ作りにもなっている。メール以外にも新しい連絡方法(マナコム)を取り入れたことで、より保護者さまとのコミュニケーション量が増えている。	facebookで日々の活動報告を毎日行っているが、閲覧数が伸び悩んでいる部分もあるので、もっと保護者さまに見ていただけるSNSを模索中。子供たちの頑張りをより伝えやすいツールを探している。
2	清潔感 衛生面の管理	毎日の清掃は、玄関、くつばこから始まり、窓、ロッカー、トイレ、キッチンなど手拭きで丁寧に行っている。ほうきや掃除機を活用したり、床も拭き掃除を行うなど徹底して行うようにしている。長期休み前は徹底して遊び道具や教具なども消毒など行っている。	今は清掃をスタッフだけで行っているので、子どもたちを巻き込み一緒に行うことで、衛生面への意識を高めたり、掃除の仕方を学べる機会として支援の一つとしても行っていきたい。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者様同士のつながりを作る機会の提供	日々のコミュニケーションは十分図れていると思うが、保護者様同士をつなげるような保護者会や、勉強会などのイベントがなかなか行えていない。希望があるし、実際に行くと多くの方が参加してくださるので、回数を増やすことで対応していきたい。	保護者会を行うにあたり、まだまだ計画性に欠けているところがある。新年度の始まりにある程度時期を確定し、とにかく実行して必要がある。学校の年間行事予定などを早めに回収し、スケジュールリングを行うことが第一です。
2	地域との連携	同じ法人の他事業所とは交流イベントなどを行って、コミュニケーションをとっているが、事業所の所在地の地域の方との交流の機会が提供できていない。お店に出向いてお買い物体験などを行うことで、個別のつながりはあっても、規模がまだまだとなっている。	法人グループの学童保育や保育園との連携から始まり、地域の商店街のお祭りなどにまずは積極的に出向くこと。ゆくゆくはお店の出店など、実行する側としての参加を目指していきたい。
3			